

おぐらやくしじょう
No.23 小倉薬師城

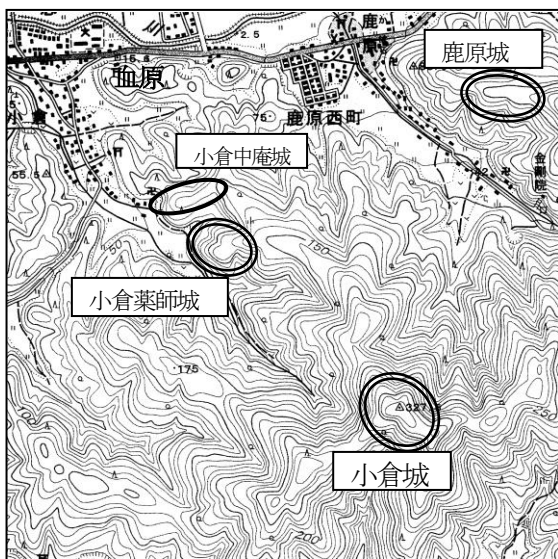
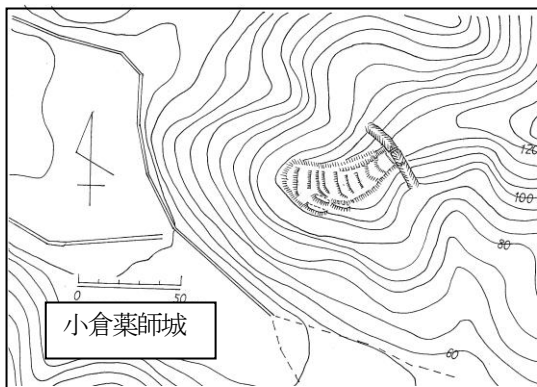
舞鶴市宇小倉小字薬師他

- ・遺構—曲輪、堀切、・占地—尾根
- ・標高—115m ・比高—95m
- ・遺跡地図番号—400

この城は小倉谷の奥まった東側の尾根に位置し、小倉中庵城の南東200mにある。東から派生した尾根先を堀切で遮断して50m程の城域を確保している。尾根の先端に向かって傾斜があり、階段状に削平が行われているが、広い曲輪はない。

縄張りからみて一時的に利用された陣城とみられる。小倉城との関連であろうか。

城主に関する記録や伝承はない。



かわらじょう
No.24 鹿原城

舞鶴市宇鹿原下西ノ谷他

- ・遺構—曲輪、堀切、・占地—尾根
- ・標高—135m ・比高—100m
- ・遺跡地図番号—396

この城は、紅葉の名所金剛院に近い鹿原集落の東背後に位置する。遺構のある尾根は、北面と南面が急斜面となっており、東と西を堀切で遮断し、70m程の城域を確保している。中央部の削平状態は良好であるが、南斜面にある二段の带状遺構は、削平状態が悪く傾斜した部分が見られる。

城主については、「丹後国加佐郡寺社町在旧起」は鹿原村の条に城ヶ嶽を示し、「これは小松内大臣重盛、美福門院当山（金剛院）御立の時奉行としてここにあり」としている。「丹後旧語集」でも城ヶ尾古城として「小松殿嫡子三位中将惟盛」居住としているが、これらを城主とすることは時代的に無理があるのではなかろうか。岡野允氏は、竹内坊（ぼん）という山伏が来て金剛院の一部を横領して城山に拠ったという古老の伝承をあげている。

